

# 市長の中心市街地活性化の検証

他の質問事項

- ▼ これからの街づくりについて
- ▼ デジタル田園都市構想について
- ▼ 地域役員の見直しについて

公明党  
なかむら  
中村  
つとむ  
努



◆ 今後の街づくりとは  
問 コロナ終息も見据え、

問 ◆ 今後の街づくりとは  
問 コロナ終息も見据え、  
たと思う。

(市長)



中心市街地

## ◆ 中心市街地の活性化

問 今期限りで引退を表明された市長の最重要課題であったがどのように検証しているか。

答 市長在任20年間の課題であった。中心市街地活性化の玉手箱のご提言を頂き、市民交流センター建設、塩尻駅前広場整備、ワインディングロードビル改修など、51の事業を計画し、現在までに43事業を推進してきた。賑わいの促進としては、自転車・歩行者の通行量は約10%の増。街なか居住の推進では、人口密度が17%の増となつたが、新たな産業や文化の創出では、中心市街地内の事業者が2%の減であった。商業施設への影響は薄いとの指摘もあるが、全体としてある程度の効果があつたと思う。

問 地域では役員改選に苦慮している。見直すべきだがどうか。

答 地域コミュニティの一担い手不足という課題を重く受け止め、組織改革のモデルとなる区一つ選定し、役員の数や仕事の量など、組織全体を見直していく検討をする。

(地域づくり課)

問 市街地の在り方ははどうか。

答 地域DXセンターの整備により、新たな産業雇用の創出、企業や教育機関の集積、人材の活躍の場として将来にわたつて誰もが暮らしやすい市街を目指す。

(市長)

# 休校で親が有給休暇取得時の会社への助成金

他の質問事項

- ▼ 塩尻駅開業120周年移転40周年記念イベントについて
- ▼ 国道19号、九里巾・金塚交差点改良について



明政会  
さいじょう  
西條  
ともい  
富雄

◆ コロナ禍の小学校休業等対応助成金  
問 コロナ禍で保護者が有給休暇を取った際に勤め先が支払った賃金を国が全額助成する制度を理解し活用できているか。

答 市や市商工会議所のホームページ等からの啓発と、市教育委員会からチラシ配布等で周知し、制度の活用を図っている。長野労働局は、会社が助成金を申請しない場合、保護者が国に直接申請できる窓口を設けている。助成金の申請できる制度の周知を。

答 市内の企業への広報や研修等を検討する。

(産業政策課)

## ◆ コロナ禍の小学校休業等対応助成金

問 コロナ禍で保護者が有給休暇を取った際に勤め先が支払った賃金を国が全額助成する制度を理解し活用できているか。



塩尻駅開業120周年移転40周年記念イベント

問 成人式を18歳に変更するものが2市町だが塩尻市の考え方。

答 対象年齢変更のデメリットを検討し、式典の名称変更について早期に決定し周知につとめる。

(社会教育スポーツ課)

問 への告知を。

答 セイコーエプソンでは国内事業所に勤める男性の正規・契約社員を対象に育児休暇取得率を2